

## オーディオ実験室収載

### ケーブルチューナーの評価(5) －スピーカーケーブルへの適用(2)－

#### 1. 始めに

前報(4)に引き続き、ケーブルチューナーの試聴を行います。

#### 2. ケーブルチューナーの試聴方法

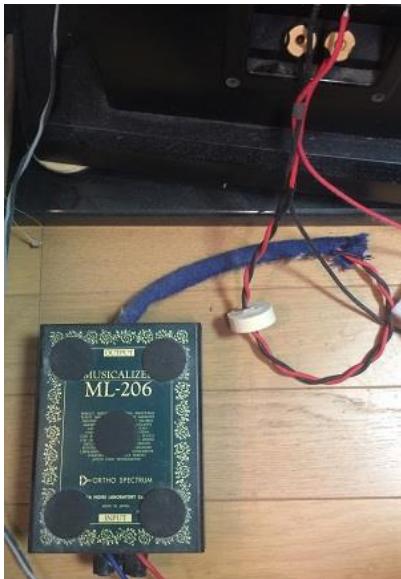
前報(4)に引き続き、ケーブルチューナーをスピーカーケーブルに適用してみます。

対象は、FAL C90EXWへのスピーカーケーブルです。

しなの音蔵 300B シングルアンプから FAL C90EXW へのスピーカーケーブルの配線は前報(4)のようにバイワイヤリングになっています。

すなわち、FAL C90EXW の平面ユニットとハイルドライバユニットにバイワイヤリングされており、ハイルドライバユニットとスーパーツイーターの SOPRANINO、ES-103A および ES-105 がパラレルに接続されています。

今回は、ムジカラライザーから平面ユニットへのムジカラライザー付属ケーブルに適用してみました。



#### 3. ケーブルチューナーの試聴結果

ケーブルチューナーをムジカラライザーから平面ユニットへのムジカラライザー付属ケーブルに装着しますと、中低域の押出が強く、音に厚みが増します。その一方で、高域とのバランスが崩れ、音の明晰さが後退します。

前報(4)の結果と合わせて考えると、このような部分的な配線へのケーブルチューナ

一の装着は、その帯域が目立つますが、場合によってはバランスを崩しますので、バランスを崩さないよう、全体的に複数のケーブルチューナーを使用する必要があるようです。

#### 4. まとめ

ケーブルチューナーをムジカライザーから平面ユニットへのムジカライザー付属ケーブルに装着しますと、受け持つ帯域は強くでて、音に厚みが増しますが、その一方で、音の明晰さが後退します。

以上